



FUCHU CITY

議会だより

No.
118

発行／府中市議会議長 令和7年11月1日発行 編集・広報広聴特別委員会
TEL(0847)44-9182・FAX(0847)45-3212 ホームページ <https://www.city.fuchu.hiroshima.jp>

府中市議会情報誌
第118号

祝 敬老おめでとうございます

大正、昭和、平成、令和を乗り越え生きてこられた皆様に、心からお祝い申し上げます。
市内では、9月5日から中須地区（岡谷町）を皮切りに、28地区で敬老会が開催されました。
対象者のうち、100歳以上の高齢者は62人（男7人、女55人）で、最高齢者は108歳の男性です。
これからも健康第一、喜びいっぱい、心穏やかにいつまでもお元気にお過ごしください。



9月議会

令和6年度府中市一般会計決算認定を「不認定」!!

9月定例会は、9月1日(月)から9月19日(金)まで19日間開き、議案25件、報告3件、意見書1件、議員提案による発議1件を審議し、議決しました。

主 な 審 議

- ・教育委員会委員の任命の同意（眞野 順子 さん）

同意

- ・府中市スポーツ振興基金条例の制定

ネーミングライツ料や寄附金等を基金に積み立て、スポーツ施設の整備、スポーツ振興に関する事業及びスポーツ団体の活動支援などの施策を推進

原案可決

- ・府中市こどもの国条例の一部改正

府中市こどもの国（ポムポム）の安心安全な運営の確保と施設の維持、受益者負担の適正化を目的として、新たに入館料を設定

原案否決

- ・令和7年度府中市一般会計補正予算（第2号）

令和6年度に実施した定額減税調整給付金の差額給付に要する経費や、施設修繕費等に必要な経費、1億2,914万円を増額

原案可決

議 員 発 議

- ・府中市市政に係る重要な計画の議決等に関する条例の制定

原案可決

意 見 書

- ・ゆたかな学びの実現・教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度負担率の引上げをはかるための2026年度政府予算の拡充を求める意見書

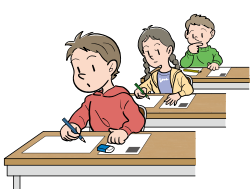
原案可決

一般質問

Q & A

9月4日、5日 15人の議員が
市政を問う！

も支援を行いたい。成果は学力調査で検証し、学校間で情報を共有しながら、課題の大きい中学校については、まずは平均水準への引き上げ、全国平均を上回る小学校については現状維持を目標としていく。



市民クラブ
みづた ゆたか
水田 豊

市内中学校の 進路指導



Q 進路指導の具体的な進め方及び各高校への地元からの進学者数を伺う。

A 年に2、3回の進路希望調査書を通じ、生徒の希望を把握しており、11月に保護者を交えた3者での進路懇談を実施している。地元中学校及び義務教育学校からの市内高校への進学者数は府中高校56名、府中東高校30名、上下高校2名である。今後、全ての市内高校との連携を深め、生徒が地元高校の教育内容や魅力を十分に理解し、将来の選択肢として前向きに検討できるように努める。



市民クラブ
しばうち のりあき
芝内 則明

公正公平な職員採用



Q 府中市はパートナーシップ宣誓制度を導入している。職員採用試験申込書に性別記載欄があり、宣誓制度との整合性を伺う。

A このパートナーシップ宣誓制度は、性的指向や性自認に配慮するものである。職員採用試験申込書の性別記載欄については、今後見直しを検討する必要があると考えている。



市民クラブ
どい もとし
土井 基司

公平委員会の勧告



Q 「地域手当が支給されていない」ことへの申し立てに対して、公平委員会から市長へ「4月にさかのぼり支給するよう」勧告が出されたが、対応方針を伺う。

勧告については真摯に受けとめる。ただし、3月議会です今年度は府中市が勤務地の職員には地域手当を支給しないという条例改正が行われたことの重みもある。もし、条例改正や補正予算等を提案する場合は、持続可能な財政運営プランを実現していくための道筋を示す必要があると考えている。

A 観光協会を道の駅の北側に移す考えはあるか。また、食の提供のあり方として料亭、カレー屋、喫茶、今回そば屋と、統一感についてどう考えているのか伺う。



創生会
なつめ だ すみこ
栗田 澄子

観光協会と 恋しき



Q 観光案内窓口機能は、人のいる所、にぎわいのある所にあるのが良いが、店舗が欲しいとのニーズもあり検討している。恋しき周辺を食のエリアとして考え、ランチ、ディナー、バーと通年営業を考えている。管理者とも統一感について協議している。



創生会
みつおか つとむ
三岡 毅

2025年度全国 学力テストの結果



Q 今回のテストで明らかになった課題を改善するための目標設定と、その達成度をどのように管理していくのか伺う。

A 課題改善に向け、各校は授業改善や学習支援を実施し、特に遅れが見られる教科は、全国平均水準の達成を目指している。個々の理解度に応じた指導を重視し、教育委員会



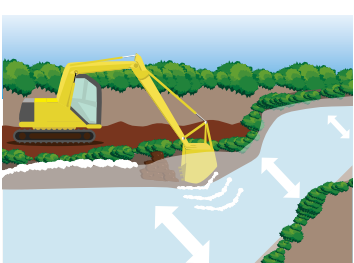
創生会
ふくだ つとむ
福田 勉

鳴谷橋のかけかえと 芦田川のしゅんせつ



Q 安全・安心な地域づくりのため、地域住民にとって重要な課題である鳴谷橋のかけかえを早急に行う必要がある。また、芦田川の樹木伐採やしゅんせつの緊急対策についても伺う。

A 財政状況や人口減少を考慮すると、現時点でのかけかえは厳しいが、今後地元と協議を重ねていきたい。安全性確保の観点から現橋は早急に撤去する。樹木伐採やしゅんせつは国に要望済みで、令和8年度以降の中期計画において、府中市街地より下流での整備事業が予定されている。



創生会
さなだ みつお
真田 光夫

デジタル化と 市民サービス



Q デジタル化により職員の働き方改革と市民サービスの向上を進める一方で、パソコンやスマホが苦手な「デジタル弱者」への対応を伺う。

A 庁内ではペーパーレス化やテレワーク、Web研修が進み、効率化が図られている。市民向けには公民館で「スマホ教室」を継続し、10月から随時公共施設ネットワークシステムが導入される。操作が難しい方には、窓口を設置するタブレットで体験できる支援サービスを提供していく。





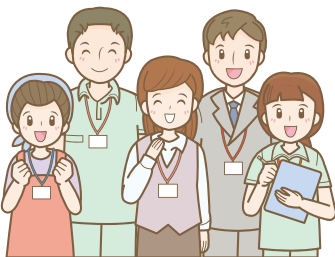
創生会
ひろ せ かずひこ
廣瀬 和彦

持続可能な定員管理



Q 定員管理は財政面や行政運営の持続性を確保するため極めて重要。今後の定員管理（適正な職員数、業務の効率化）の方向性を伺う。

A 本市の職員数は類似団体の平均より45人多く、財政健全化に向け10年で30人の削減を目標としている。重点分野への配置、DX化や業務改善で事務の標準化を推進し、効率化と人件費抑制を進める。人材の最適活用により市民サービスの維持と持続可能な市政運営を図る。



公明党
おおもと ち か こ
大本千香子

これからの府中市の平和への取り組み



Q 戦後80年を迎えたことしの平和祈念式典は、市内保育所や放課後等デイサービスの子どもたちの平和作品や俳句展示、小学校の平和の取り組みの紹介等、次世代の参画もあり、平和をつなぐ機会になったと思う。遺族の方の高齢化もあり、参加者が少ないのが残念だった。今後の式典や平和への取り組みを伺う。

A 今後、市民の様々なご意見をいただきながら、平和を語り継げる取り組みについて検討していきたい。



公明党
かしま ひろのぶ
加島 広宣

行政監査委員



Q 同じ人物が長期間監査委員を続けると、行政や市長・職員との関係は密になりやすくなり、公正な監査を行うための独立性が損なわれるおそれがある。また、行政側や内部者の立場になることで、忖度や甘さ、またなれ合いが生まれ、チェック機能が形骸化されがちとなるといったデメリットがあると考えが見解を伺う。

A 議会の選任同意に基づいて、進めている。デメリットについては特段思い当たるところはない。



経政会
もりかわ しのぶ
森川 稔

公民館の運営ルール見直し



Q 公民館における地域行事での利用で、飲酒の抑制的なあり方を含め、各館の運用を地域でルール化できないか伺う。

A より広い世代や多様な背景を持つ市民の皆様が利用できる環境を整えるため、「府中市公民館管理運営に係る統一基準」を策定し、統一的な運営のルールを示している。この基準により、府中市の全ての公民館は飲酒を伴わない、社会教育施設であるとしている。



経政会
ふじもと しのぶ
藤本 秀範

公共施設使用料のあり方



Q 公共施設使用料のあり方について、市民の意識をどう捉え進めていくのか伺う。

A 公共施設は、老朽化による維持管理費や設備の更新費用など財政的な負担もある。持続可能な運営を図る上で、使用料に対する市民の認識は重要な要素である。料金体系の見直しは、市民へのアンケート調査による利用実態把握を踏まえ、運営コストや利用率、近隣自治体と比較した背景から、慎重に判断した根拠を公開し、市民の合意と透明性を確保しながら進めていく。



COMMONS未来
やすとも まさあき
安友 正章

農林みらい基金の設立



Q 担い手育成支援や農業経営支援など、持続可能で魅力ある地域農業の実現のために、農林みらい基金の設立を考えてはどうか伺う。

A 府中市では財政健全化に向けた事業見直しに取り組みながら、必要な予算確保に努めている。そうした中でクラウドファンディングや民間資金を活用する企業版ふるさと納税といった手法で資金調達し、農業振興に活用することは有効な方法の一つとして考える。



COMMONS未来
いわむら ゆうた
岩室 雄大

介護人材の確保



Q 財政健全化プランで「介護人材の確保事業」の廃止後、市民からの反応や、新たな取り組み等はあるか伺う。

A 社会福祉法人の代表者から、ハローワークへの応募は全くないなどの、人材確保の厳しい状況を聞いている。このことを受け「広報ふちゅう」を活用し、求人情報を掲載するなどの取り組みを始めた。



無所属
おかだ たかゆき
岡田 隆行

敬老祝い金事業の廃止に疑問



Q ことしから100歳へ1万円の敬老祝い金を贈る事業が廃止された。財政事情から減額されることはあるにせよ、全てゼロにするのはあまりにも冷たいのではないか。他市町のように温かい対応を望む。

A 高齢者に対する感謝と敬意は変わらない。厳しい財政事情ではあるが、安心・安全が持続するまちを実感できる環境を整え、限られた資源の活用と創意工夫により持続可能な形で取り組みを進めたい。

決算総括質疑概要

Q 令和6年度決算を踏まえ、財政調整基金残高の見直しを伺う。

A 令和6年度決算、9月補正予算の状況を受けて、令和7年度末での残高は令和6年度末の残高15億円から増加する見込みで、一時の事態からは改善の傾向が見られる。

Q 令和6年度決算を踏まえ、財政調整基金残高の見直しを伺う。

A しっかり審議しなくてはならない。予算流用は、どういう場合に行われるのか伺う。

Q 決算審議は、認めた予算以外の使い方について、

A 予算目的に従った執行が原則。予算流用は、市民サービスに重大な支障が起きそうな場合など、緊急性が一番重要だと考える。今後は、適正な執行に取り組む。

委員会での審査

総務文教常任委員会

府中市スポーツ振興基金条例の制定について（原案可決）

Q 基金の設置目的と必要性について伺う。また、ネーミングライツパートナー募集における予定価格の算定基準や選定方法について伺う。

A スポーツ施設の整備、スポーツ振興に関する事業及び団体支援の財源とし、ネーミングライツ料や寄附金等を積み立て、中長期的に運用することで一般財源の負担軽減を図るものである。ネーミングライツパートナーの選定は公募を原則とし、募集要項を周知する。予定価格は施設利用状況や露出度を総合的に勘案して決定していく。

厚生常任委員会

府中市こどもの国条例の一部改正について（原案可決）

Q これまで無料であった入館料を有料化する判断の経緯と300円の設定根拠を伺う。また、有料化による利用者減少や保護者負担をどう考えるか伺う。

A 施設の安全・安心な運営を持続するため受益者負担を適正化し、近隣施設料金やアンケート結果を参考に300円とした。負担感は想定されるが、入館料は遊具の更新や設備のリニューアル改修に充当し、満足感・充実感へと転換していただけるよう、魅力ある施設づくりを進めたい。



00円とした。負担感は想定されるが、入館料は遊具の更新や設備のリニューアル改修に充当し、満足感・充実感へと転換していただけるよう、魅力ある施設づくりを進めたい。

地方独立行政法人府中市病院
機構の経営状況について
（審査終了）

Q 議会がこれ以上の繰り入れを認めないとした附帯決議をどのように受け止めているのか伺う。

A 附帯決議は、大変重く受け止めている。病院機構には、さらなる経営努力をしていただき、追加の繰り出しを安易に行うべきではないという趣旨で受け止めているが、病院が破綻するおそれがあったとしても繰り入れしないという趣旨ではないと考えている。

決算特別委員会での審査

総務文教分科会

議案第68号 令和6年度府中市一般会計決算認定について

Q 新市民プールの来館者数の目標と実績について伺う。また、第一中学校、南小学校、旭小学校での水泳授業利用状況と、バス移動の手配・費用負担について伺う。

A 開館2カ月で来館者は2万1606人、1日平均392人で、年度末までの来館者数目標の7万2000人を上回るペースで利用されている。水泳授業利用は合計12日間、延べ1164人が参加した。バス移動の手配と費用は教育委員会で負担している。

Q 保育料無償化による影響額について伺う。

A 保育料無償化による影響額は約7700万円、アンケート等により効果検証を進めている。国には市長会を通じて施策統一を要望している。#7119は人口当たり件数では比較的前進であり、今後は市アプリでの発信や、講演会でのポスター掲示などで、周知を強化していきたい。

厚生分科会

議案第68号 令和6年度府中市一般会計決算認定について

Q ゼロ歳児、2歳児保育料無償化に係る市負担額や検証期間、国への要望について伺う。また、救急相談センター（#7119）の周知状況と新たな周知策について伺う。

A 保育料無償化による影響額は約7700万円、アンケート等により効果検証を進めている。国には市長会を通じて施策統一を要望している。#7119は人口当たり件数では比較的前進であり、今後は市アプリでの発信や、講演会でのポスター掲示などで、周知を強化していきたい。

建設産業分科会

議案第68号 令和6年度府中市一般会計決算認定について

Q 当初予算にない多額の流用が生じた原因について伺う。また、備品や消耗品購入に過疎債が使えないため、一般財源を充当したが、その財源の出どころや協議の経緯について伺う。

A 年度当初の積算が不十分で、流用できるとの意識が働いたと考えている。備品・消耗品購入は施設整備費から流用し、一般財源で充当した。購入に当たっては副市長も協議に加わっており、意思決定のプロセスについては今後改めて確認していきたい。



予算特別委員会での審査

総務文教分科会

議案第75号 令和7年度府中市一般会計補正予算（第2号）について

Q 企画費の移住支援金260万円の補正内容について、東京23区在住者や通勤者の転入支援制度であり、想定以上の申請があったと聞くが、その内訳と財源について伺う。

A 当初予算では1世帯分を想定して100万円を計上していたが、申請2件、5名分で総額360万円となり、不足分260万円を補正計上した。内訳は単身者60万円と、子供2人を含む4人世帯300万円である。財源は国や県との共同事業であり、歳入として国・県からの負担金195万円を増額計上した。

厚生分科会

議案第75号 令和7年度府中市一般会計補正予算（第2号）について

Q 保育所費に計上された測量設計業務委託料の対象施設と具体的な内容について伺う。

A 対象は昭和50年建築の旧中須保育所であり、外壁の剥離や耐震性不足が確認されている。今後の活用方針を検討するに当たり、売却も含めた判断材料とするため、敷地測量や境界確定、成果資料の作成を業務委託として実施するものである。

建設産業分科会

議案第75号 令和7年度府中市一般会計補正予算（第2号）について

Q 県道維持修繕業務委託料は、市が市内の県道維持を負担しているのか。また、道路営繕業務1300万円について、補正時に修繕箇所は決定しているのか、地域からの要望も反映されるのか伺う。

A 県道維持修繕は県の交付金により実施する事業で、市の負担はなく全額県費である。道路営繕業務は突発的な修繕への対応を想定した予算であり、事前に場所を決めているものではなく、地域からの要望に基づく簡易な修繕も含め対応していく考えである。

討論

議案第63号

府中市スポーツ振興基金

条例の制定について

反対討論

無所属 岡田 隆行

「基金」をつくれれば議会
で監視できなくなる懸念がある。また財政計画が生命線となるが、その計画も示されていない。本来「公共施設整備資金」でスポーツ施設の維持管理、さらには充実を図るべきである。これと今回設立されようとしているスポーツ基金との使い分けも十分示されておらず、市民にとっても理解しにくい提案と言える。

賛成討論

創生会 福田 勉

スポーツ施設の整備や団体支援を目的に、ネーミングライツ料や指定寄附金などを積み立て、将来の財源確保につなげる透明性のある基金の創設は意義深いもので、一般財源の負担軽減にもつながる。市民や企業の思いをスポーツ振興に生かし、子供から高齢者まで多くの人に健康と笑顔をもたらす取り組みとなることを期待し賛成する。

議案第67号

府中市こどもの国条例の一部改正について

反対討論

市民クラブ 土井 基司

施設内の「児童会館」を有料化する議案である。県内自治体で有料の児童館は確認できず、先駆けての実施は「子育てにやさしくないまち」と捉えられてしまう。保育料無償化などによって子育て世代の転入が微増している。この有料化で、無償化にかかる7700万円の投資が台無しになる。政策判断として間違っており、反対する。

反対討論

公明党 大本千香子

有料化により経済的に厳しい家庭が利用できなくなるおそれがあり、子供の遊びや学びの場の確保である児童館の目的を制限することになる。また、市の受益者負担の適正化ガイドラインがない中で、ポムポムの先行有料化は基準が不明確である。「子育てするなら府中市で」との総合計画に逆行する。以上の理由で反対とする。

反対討論

COMMONS未来 岩室 雄大

社会環境は変化し、児童館の役割は重要性を増している状況にもかかわらず、利用者格差を生む改正は時代の流れに逆行している。単なるレジャー施設であれば、有料化は受け入れられるが、児童の健やかな成長を支える場であることに加えて、金銭的にも他の事業の見直しによつて十分に解決可能であるため、今回の有料化には反対する。

反対討論

無所属 岡田 隆行

「こどもの国」の性格から有料化は不適切と考
える。児童厚生施設であり無料の大原則がある。あわせて子育て世代活動支援センターの性格も有しており「遊び」と「学び」の複合施設である。児童館の整備等を国が支援のために準備している「次世代育成支援対策施設整備交付金」などをさらに活用しながら進めていくのが良いと考え反対する。

賛成討論

創生会 真田 光夫

年間約5500万円の維持管理費に対し受益者負担を導入することで、修繕費等に充て、安心・安全な運営を確保できる。税金による全額負担を改め、利用者が適正な費用を負担することで公平性も保てる。アンケートでは300円の利用料を導入後も約75%が利用継続の意向を示した。祝祭日等の無償化、費用公開、基金設立を要望し賛成とする。

賛成討論

経政会 藤本 秀範

ポムポムの有料化は、子供は無料で利用できる為、児童厚生施設としての趣旨に反するものではない。年間900万円の収入見込みは、施設の維持管理と魅力向上に対する整備への充当であり、来館者の増加にもつながる。充実した設備維持は、本市が推進する子育て支援の観点からも有益な取り組みであり、子供の未来のために必要な措置と判断し原案に賛成する。

議案第68号

令和6年度府中市一般会計決算認定について

反対討論

市民クラブ 芝内 則明

建設産業分科会で、2日間に及ぶ審査を実施した。しかし、恋しきの活用にかかわる消耗品購入での流用や、出張にかかわる関係書類及び質問に対する執行部からの回答が不明瞭であり、認定に値するものではなく、反対とする。

反対討論

創生会 三藤 毅

本決算審査では、当初予算に計上されていたなかった事業が流用により執行されていたことが明らかにになった。予算は議会の議決を経て初めて執行根拠を持つものであり、独断での流用は議会軽視で住民の信託を損なう行為である。民主的統制の原則を逸脱した執行は看過できず不認定とし、反対とする。

反対討論

公明党 加島 広宣

流用による会計処理などや、不透明な点と疑義があり、引き続き調査が必要であるため、現時点での認定はできないと考え、反対とする。

反対討論

無所属 岡田 隆行

料亭「恋しき」の取得や、昨年の「食の魅力化発信事業」には修正動議も出しながら、私たちは正面から反対してきた。今回「恋しき」事業に関する予算の流用が問題になり責任が追及されている。恋しき取得時に受けた9千万円の「寄附」について、その使い方に疑問が残る。税金の使い方の基本に誤りがあると言わざるを得ず、決算認定には反対する。

反対討論

無所属 岡田 隆行

議案が執行部から出される以前での「事前審査」との、そしりを免れない。執行部も資料の準備や提示時期を含めて対応に苦慮することは必至。定例会や常任委員会での審議で十分である。また、市民の負託を受けている議員としては、はなはだ頼りない印象を市民に与えてしまうことにもなる。現段階でこの条例をつくることは時期尚早と考え反対する。

賛成討論

経政会 森川 稔

本市が財政状況の悪化を招いていることなどにより、議会の監視機能や審査機能の強化が求められている。本条例制定により、市政に関する重要な計画や事業の策定と変更の段階で、議会がその情報を執行部から受ける仕組みを整え、進捗に応じたプロセスチェックができる議会体制とするためにも、この議案に賛成する。

9月議会本会議での各議員の議決結果（賛否が分かれたもの、主なもののみ掲載しています。詳細は府中市ホームページをご覧ください）

議案名		議員名															
		本谷	岡田	藤本	真田	岩室	芝内	森川	福田	安友	土井	田辺	広瀬	加藤	水田	加島	大本千香子
		宏行	隆行	秀範	光夫	雄大	則明	稔	勉	正章	基司	稔	和彦	吉秀	豊	広宣	毅
人 事	固定資産評価審査委員会の委員の選任の同意について（6名）	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人 事	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人 事	教育委員会委員の任命の同意について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条 例	府中市スポーツ振興基金条例の制定について	—	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条 例	府中市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条 例	府中市こどもの国条例の一部改正について	—	×	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×
決 算	令和6年度府中市一般会計決算認定について	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	除	×	×	×	×
予 算	令和7年度府中市一般会計補正予算（第2号）について	—	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条 例 【議員発議】	府中市市政に係る重要な計画の議決等に関する条例の制定について	—	×	○	×	×	○	○	×	×	○	棄	×	×	○	○	○

（－議長は採決に加わらず、欠は欠席、×は反対、○は賛成、棄は棄権、除は除斥・・・本人等に関わる議案については審議に参加できないこと）

令和7年7月8日（火）～10日（木）

・茨城県笠間市「笠間スポーツコミッション（SC）について」

視察を通じて、府中市もスポーツ協会と行政が連携し、協議の裾野を拡大するとともに、競技レベルの向上を図り、持続可能なノウハウを獲得し、様々なスポーツの展開を推進していくべきだと感じた。府中市が「スポーツによる地域の賑わい創出」をさらに推進するためには、笠間市の一般社団法人化についての詳細な調査が必要であるが、公民連携組織は有効な手段であると考える。



令和7年7月7日（月）～9日（水）

・福岡県大牟田市「地域包括ケア（ほっとあんしんネットワーク等）」

大牟田市の認知症施策は、行政の枠組み整備にとどまらず、地域住民・学校・関係機関が一体となっており、徹底した仕組みづくりが特徴である。特に「認知症を支える」から「共に生きる」社会を目指す理念が一貫しており、単なる制度設計や予算措置ではなく、人づくりや意識改革の積み重ねが根幹にあることを学んだ。



令和7年7月2日（水）～4日（金）

・京都府京都市「株式会社マイファームの取り組みについて」

マイファームの取り組みは、農業の課題解決に向けた幅広い施策を展開しており、日本の農業の未来を考える上で重要なモデルとなる可能性を感じた。特に、新規就農者の受け入れ、地域おこし協力隊の活用など、農業を通じて地域活性化を促進する取り組みは非常に興味深い。耕作放棄地防止の視点は、単なる農地管理だけでなく、教育・体験型農業など、未来の就農者を育てる施策と連携していく必要がある。



総務文教常任委員会

厚生常任委員会

建設産業常任委員会

各常任委員会で先進地視察を実施したので、主な視察状況を報告します。

常任委員会の活動

「いい医療の日」、「本の日」、「犬の日」など、本日11月1日にちなんだ記念日はいろいろあります。1月1日はもとより、スタートの「1」が並び、まさに初心に立ち返る日でもあります。

9月議会では、予算流用をめぐって昨年度の決算が不認定になったことで市政に対する市民の皆さんの目もさらに厳しくなっています。10月に「議員と語る会」で、皆さんから聴かせていただいたご意見や要望をしっかりと胸に刻み、今後の議会に反映させていきたいと考えております。冬の到来を予感させる霜月。それでも小春日和もあります。少しずつ着実な歩みを進めていきたいものです。

（岡田）

議会だよりへのご意見・感想お待ちしています。

TEL(0847)44-9182

FAX(0847)45-3212

議会の動き（7～9月）

7月1日

厚生委員会（意見交換「医療的ケア児関係者」）

7月2日

建設産業委員会（行政視察「東京都大田区」「埼玉川越市」「京都府京都市」）

7月7日

厚生委員会（行政視察「福岡県大牟田市」「福岡県福岡市」「福岡県鞍手町」）

7月8日

総務文教委員会（行政視察「茨城県常総市」「茨城県高萩市」「茨城県笠間市」）

7月11日

広報広聴特別委員会（フリースピーチの運営）

7月28日

建設産業委員会（行政視察まとめ）

7月29日

総務文教委員会（行政視察まとめ）

7月29日

議会運営委員会（申し合わせ事項、行政視察、議会ご意見箱）

7月30日

厚生委員会（管内視察「NPO法人夢をつむいで」「ほんまち家」）

7月30日

総務文教委員会（意見交換「府中市まちづくり振興公社及び（株）ルネサンス」）

7月31日

広報広聴特別委員会（議員と語る会打ち合わせ）

8月1日

厚生委員会（管内視察「みのり学園」）

8月2日

広報広聴特別委員会（市民フリースピーチ）

8月4日

議会運営委員会（9月定例会運営、行政視察、委員会代表質問）

8月13日

総務文教委員会（意見交換「教育部」）

8月18日

建設産業委員会（意見交換「経済観光部」）

8月20日

厚生委員会（意見交換「健康福祉部」）

8月20日

厚生委員会（管内視察「府中市民病院」）

8月25日

厚生委員会（所管事務調査）

8月25日

総務文教委員会（所管事務調査）

8月26日

議会運営委員会（9月定例会運営、行政視察）

9月1日

第3回府中市議会定例会

～9月19日

9月24日

広報広聴特別委員会（議員と語る会打ち合わせ、議会ご意見箱、各事業進捗状況）

9月24日

厚生委員会（所管事務調査）

9月26日

総務文教委員会（所管事務調査）

9月29日

議会運営委員会（9月定例会振り返り）

9月30日

広報広聴特別委員会（議会だより編集打ち合わせ）

視察の受け入れ

8月18日

三次市（放課後児童クラブ）